



# 衛生観念と キャッシュレス

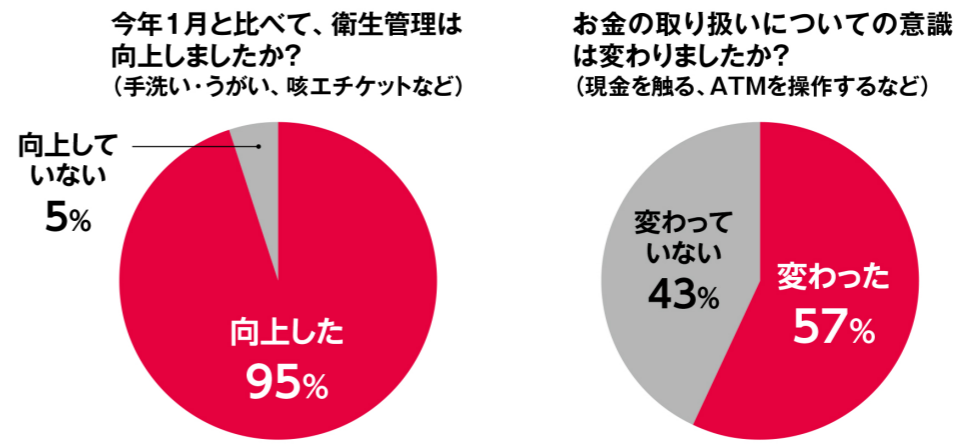
政府主導でキャッシュレス化が進む中、  
コロナの影響による消費者のお金に対する意識変革について調べ、  
改めて今歯科医院がキャッシュレスを導入するメリットをまとめました。



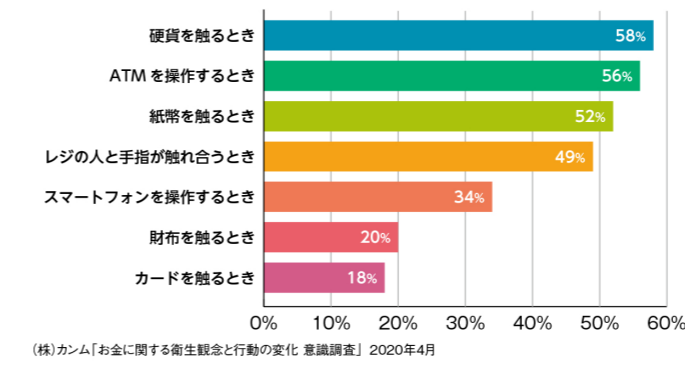
従来から変わりつつある衛生観念

3月より始まった、フィードプライムサービスの特典の一つ、「クレジットカード端末決済サービス」決済手数料2.2%への反響がとても大きい。その要因として、手数料率の安さの他にも、患者の感染予防に対する意識変化の影響が大きいようだ。

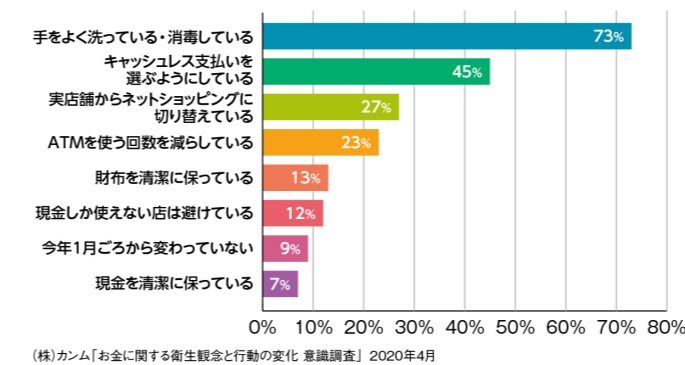
①(株)カンム「お金に関する衛生観念と行動の変化 意識調査」 2020年4月(キャッシュレス決済の「(株)カンム」調べ)



②現在(2020年4月)、お金に関して衛生管理が気になるのは?

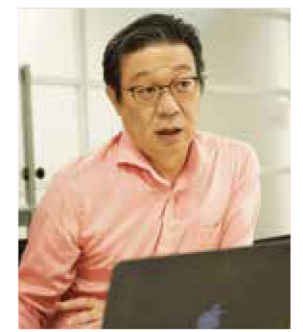


③現在(2020年4月)、お金に関する行動変容は?



(株)カンムが2020年4月に行なった「お金に関する衛生観念と行動の変化 意識調査①」によると、今年1月と比べ、95%の人が衛生管理が向上したと回答している。また、お金の取り扱いについての意識が変わった人は、57%おり、約半数が変化を実感している。

同調査の②「お金に関して衛生管理が気になるのは?」という項目では、「現金に関する項目がそれぞれ約50%を獲得している。さらに、同調査の③「お金に関する行動変容は?」という項目では、手洗い・消毒の次点として、「キャッシュレス支払いを選ぶようにしている」が45%となっていた。また、驚くことに「現金しか使えない店は避けている」が12%もあり、消費者のキャッシュレス化の進行がうかがえる。



**黒澤宏亮**  
株式会社ユニバーサルデベロップメント 代表取締役  
株式会社ユニバーサルデベロップメントは、医療機関を主としたコンサルティング業務を行っている。歯科に向けてはコンサルティング・経営支援セミナー・クレジットカード決済用端末機の導入等を行っており、実績が1,000店舗以上ある。(2016年から2019年までの実績)

【調査概要】  
期間：2020年4月9日～2020年4月10日  
方法：インターネット調査  
対象：「バンドルカード」ユーザー 1,229 サンプル

## キャッシュレスのニーズは 歯科医院にも??

今年の4月以降、店舗では現金の受け渡しの際にトレーを介すようになり、セルフレジやキャッシュレス化した店舗も増えたように感じる。それに伴い、現金を持ち歩く人々も減り、キャッシュレスや電子マネーを利用できることが店舗選びの一つの判断材料になってきている。医療機関以外でも感染対策が浸透しつつある今、医療機関の感染対策に関する見られ方はより厳しくなっていると見える。

要だが、決済周りのキャッシュレス化を整えることも感染予防のうちのひとつだ。まず現金に触れる機会が減ること、そして会計がスムーズに終わることによって患者の滞在時間が短縮できることも感染予防につながる。実際に、歯科医院全体の4割程度がすでにクレジットカード決済用端末機を導入しているが、多くが自費診療の場合のみカード支払い可とし、保険診療でのカード支払いを勧めている医院は多くない。だが、保険診療を含むキャッシュレス可には、感染予防対策以外にも多くの利点がある。

## 保険診療のクレジットカード決済 は禁止されているのか?

保険診療ではクレジットカード決済ができないと聞いたことがある方もいるかもしれないが、実は可能である。医院独自のポイントカードを作るなどの方法で他院との差別化を図ることは禁止されているが、保険診療でのクレジットカード決済は禁止されていない。また、保険診療での支払いの際にかかってくる手数料は、患者負担分のみとなるため、皆様の想定よりも手数料による負担額は低いかもしれない。

今後でも選ばれ続ける歯科医院であるためのツールとして、クレジットカード決済の導入が有効と話しをしてきたが、やはり現金支払いとの大きな違いは、カード決済時の手数料だろう。ただ、この手数料は上にあげた利点を考慮すると「感染対策費」、「集客費」、「管理費」とも捉えることができる。

それでも、手数料が安いことに越したことはないだろう。そのためこの度株式会社ユニバーサルデベロップメントとフィードで、歯科医院向けの手数料率を限界まで低くすることに挑戦した。その結果がフィードプライムの特典の一つ「クレジットカード端末決済サービス」である。月額固定費なども無料とし、医院コストを削減することに特化した内容となっている。(端末機のみ、初年度のカード決済金額に応じて一部費用をお支払いいただいている。)医院コストの削減に効果的な自信をもって提供できるサービスとなっている。

## キャッシュレスのメリット

- 1 キャッシュレスで支払いたい患者のニーズを満たす。
- 2 スタッフの会計時の手間や釣銭間違い、料金の未回収リスクから解放される。
- 3 高額支払いへのハードルは現金よりもクレジットカードの方が低いため、保険→自費と導入がしやすい。
- 4 手持ちの現金の心配をしなくて良いため、物販のついで買いが発生しやすくなる。

健康保険組合加入者で診療報酬が1,000点だった場合... ※手数料が2.3%の場合

患者さん	3,000円	国保・健保など	7,000円
------	--------	---------	--------

手数料は、患者さん負担分だけ!

加盟店手数料 = **69円**  
(患者さん負担の3,000円×2.3%)

導入を検討してみようかな!

サービスの  
詳細は  
次のページ